

令和3年2月3日

白河第二小学校 保護者 様

白河第二小学校長 井上 久仁夫

令和2年度学校評価アンケート結果について

厳寒の候 保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度の12月に保護者の皆様にご協力いただきました学校評価アンケートの結果を、児童・教職員のアンケート（自己評価）と合わせまして、下記のとおりお知らせいたします。学校評価アンケートの結果を受けて、さらに本校の教育を充実させていきたいと考えております。今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、この結果は、本校ホームページにも掲載いたします。

記

- * 評価実施日 令和2年12月
- * 調査対象 児童 回収率 99%
- 保護者 回収率 97% (保護者は児童一人につきそれぞれ回答)
- 教職員 回収率 100%

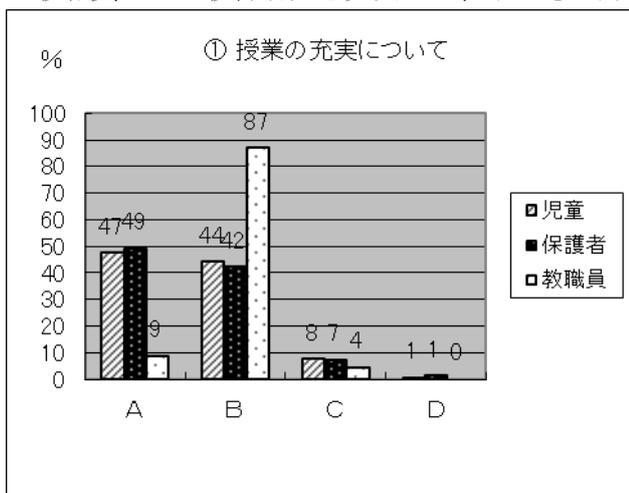
- A とてもよくあてはまる。できている。
- B だいたいできている。
- C あまりできていない。
- D ほとんど、または、まったくできていない。

<問1 授業の充実について>

児童 授業では、よく考えたり発表したりして、本気で取り組んでいますか。

保護者 お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。

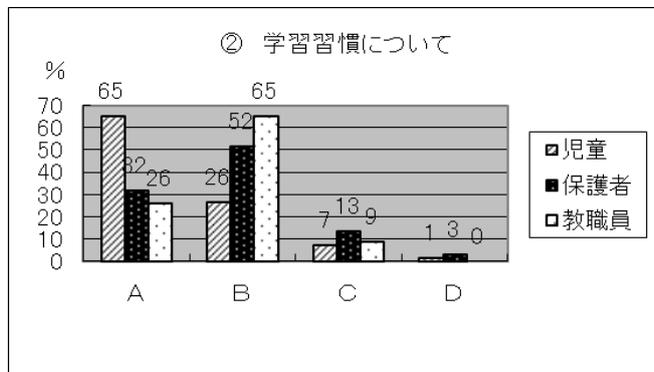
教職員 教材研究を充実させ、子どもの力が伸びる授業をしている。



児童の91%がA及びBの評価であるが、これは昨年度比-1%であり、保護者は91%（昨年度-2）、教職員の自己評価は96%（昨年度比+8%）であった。教職員は、今年度実施した研究公開で日々の研究を授業の中で具現化することができた。今後も、「探求し続ける問題解決的な学習」について研究を深め、子どもたちにとって楽しく分かりやすい授業の実践に取り組んでいく。

<問2 学習習慣について>

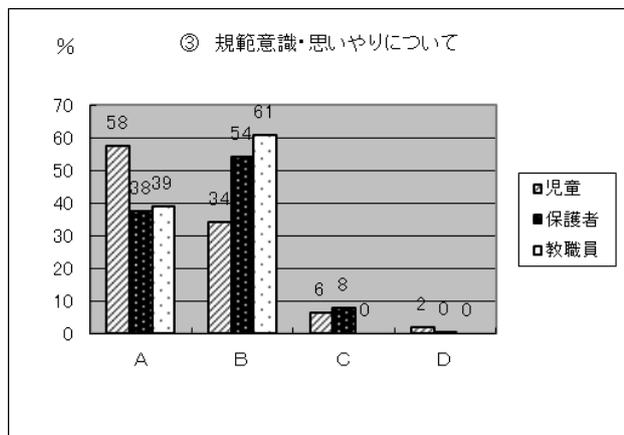
児童 宿題や家庭学習を忘れずにやっていますか。
 保護者 お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。
 教職員 家庭学習の習慣化が図られるよう工夫して指導している。



児童の91%（昨年度比-1）、保護者の84%（昨年度比-1%）、教職員の91%（昨年度比+3%）がA及びBの評価である。目指すは家庭学習実施100%である。学校と家庭の連携を図りながら、自主学習の内容、方法を工夫し、さらに家庭学習が充実していくように取り組んでいきたい。「ふくしまの家庭学習スタンダード」と「家庭学習のてびき」を参考に取り組めるようにする。

<問3 規範意識・思いやりについて>

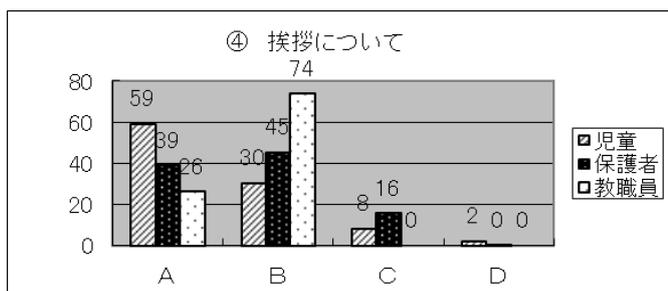
児童 きまりを守り、まわりの人の気持ちを考えて行動していますか。
 保護者 お子さんは、きまりを守り、周りの人の気持ちを考えて行動している。
 教職員 規範意識や思いやりの心を育てるよう工夫して指導している。



児童の92%、保護者の92%、教職員の100%がA及びBの評価である。教職員は昨年度より+7%、児童も+2%、保護者は同数である。学校、家庭、地域が連携して規範意識の向上が図られた結果となった。今後とも「特別の教科道徳」や生活の中で理解させながら、児童の規範意識・思いやり等の指導にあたっていきたい。

<問4 あいさつについて>

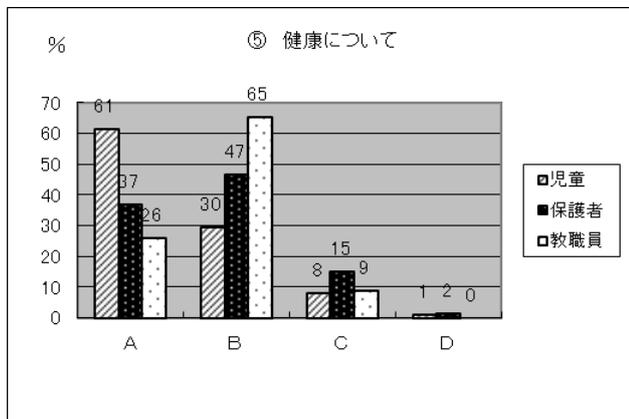
児童 元気にあいさつをしていますか。
 保護者 お子さんは、元気なあいさつをしている。
 教職員 元気なあいさつについて指導している。



児童の89%、保護者の84%、教職員の100%がA及びBの評価である。教職員と児童が高い数値になっているのは、校内でのあいさつができている児童が多いからだと考えられる。学校では「あいさつ推進運動」を8月と1月に位置づけ、あいさつの指導を重点的に行っている。今後も、登校時や地域の方へのあいさつが元気にできるように指導していく。

<問5 健康について>

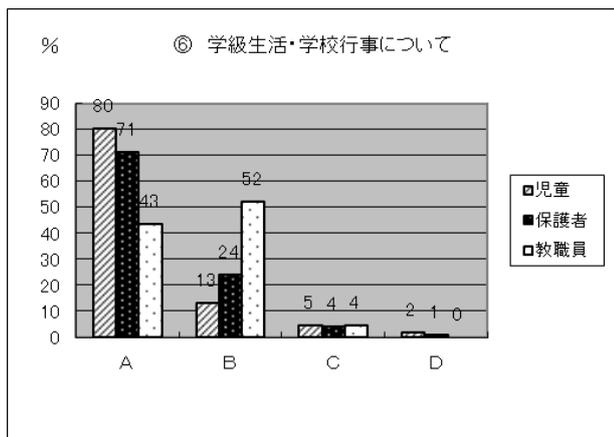
児童 運動や食事など健康に気をつけて生活していますか。
 保護者 お子さんは、運動や食事など健康に気をつけて生活している。
 教職員 運動や食事など健康に過ごしていくことについて指導している。



児童の91%、保護者の84%、教職員の91%がA及びBの評価である。今年度は、新型コロナウイルスの影響で、休校や運動の制限などが出された影響で体力の向上が十分に図れなかった。食育指導や保健指導に栄養教諭や養護教諭、外部講師を招いてTTで指導を行い、学習内容の理解を深めている。今後も保護者の方の理解や協力を得て、健康教育を充実させる必要がある。

<問6 学級生活・学校行事について>

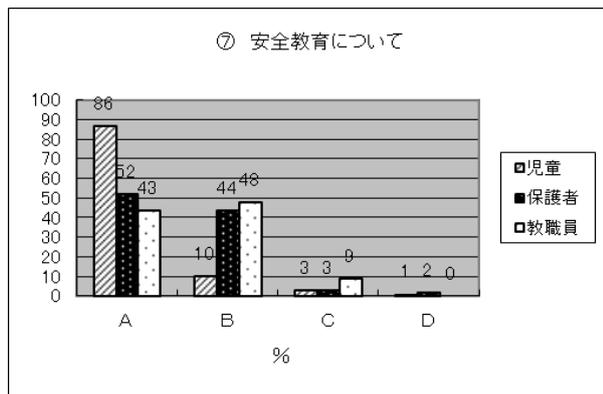
児童 学級での生活や学校行事は楽しいですか。
 保護者 お子さんは、学級での生活や運動会・音楽会などの学校行事を楽しんでいる。
 教職員 学級での活動や学校の行事が楽しくなるよう工夫している。



児童の93%、保護者の95%、教職員の95%がA及びB評価である。今年度は、新型コロナウイルスの影響で行事が時期の変更や内容の縮小が余儀なくされたが、感染対策を取りながら、工夫して実施することができた。来年度は、新しい生活様式の中で、感染症予防の対策を講じながら学校生活を豊かにしていきたい。

<問7 安全教育について>

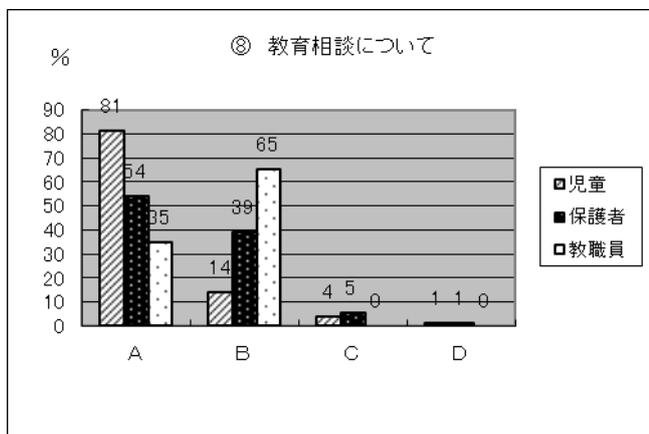
児童 火事や地震、交通事故、不審者などから、自分の命を守ることに気をつけていますか。
 保護者 災害（火災や地震）への対応、交通事故の防止、不審者等から身を守ることなど、学校での安全指導はなされていると思いますか。
 教職員 地震、災害、交通事故、不審者等から身を守ることについて日常的に指導している。



児童の96%、保護者の96%、教職員の91%がA及びBの評価である。今年度は、新型コロナウイルスの感染防止のため全校生での不審者対応や地震の避難訓練を実施することができなかった。学級ごとに子どもたちの実態に応じての指導を行った。震災の教訓を忘れずに、安全教育の徹底、実効性のある避難訓練等、安全・安心な学校づくりのために、工夫した取組をしていきたい。

<問8 教育相談について>

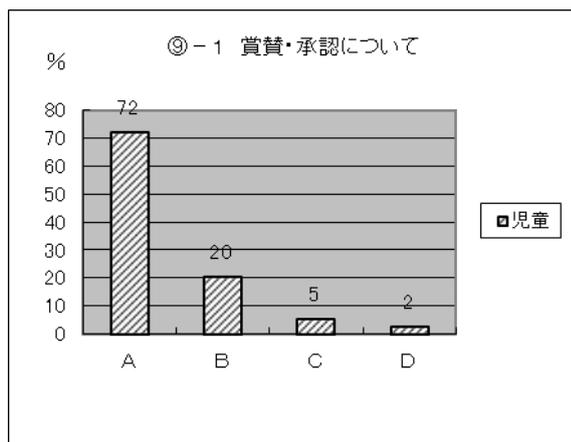
児童 学校の先生方は、あなたの悩みや相談に親切に答えてくれますか。
 保護者 教職員は、お子さんの悩みや相談に親切に答えてくれると思いますか。
 教職員 悩みや相談について積極的に対応している。



児童の95%、保護者の93%、教職員の100%がA及びBの評価である。いずれの対象においても高い評価だった。子どもたちの良いところを積極的に保護者に知らせたり、保護者と意図的に面談をしたりしたことが効果的であった。今後も、継続して児童の声に耳を傾け、児童一人一人に応じて、きめ細かく対応していくようにする。

<問9の1 称賛・承認について（児童）>

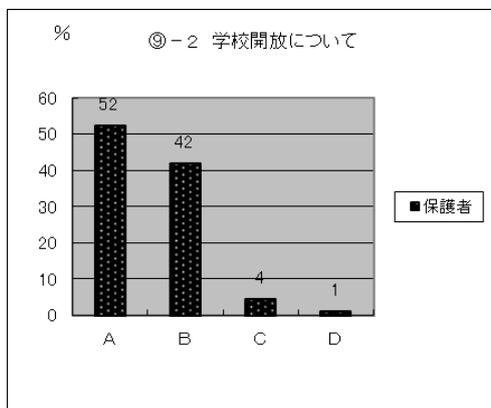
児童 学校の先生方は、学習でがんばっているあなたのことを励ましてくれますか。



児童の92%が、教職員が称賛や承認をしてっていると評価している。昨年度より-4%であった。全体の7%ほどがC及びDの評価で、自分をもっとほめてほしい、認めてほしいと感じていることがうかがえる。今後とも子どもたち一人ひとりを大切にして対応していかなければならない。

<問9の2 学校開放について（保護者）>

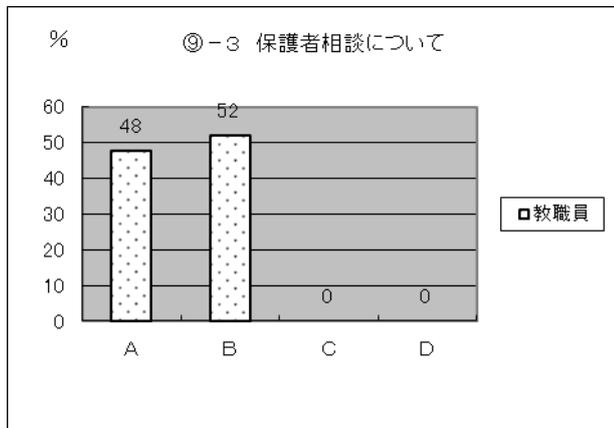
保護者 地域住民や保護者の方が学校参観できる機会や懇談会など、学校を開く努力はなされていると思いますか。



保護者の94%がA及びBの評価をしており、昨年度より-3%であった。今後も、学校運営協議会の方にも授業を参観していただく機会をつくったり、地域の方の授業参観の機会を増やしたりするなど、学校開放について、保護者の方の声を聞きながら充実したものにしていきたい。

<問9の3 保護者相談について（教職員）>

教職員 保護者からの連絡相談に適切に対応し、子どもの立場を尊重する姿勢で指導にあたっている。



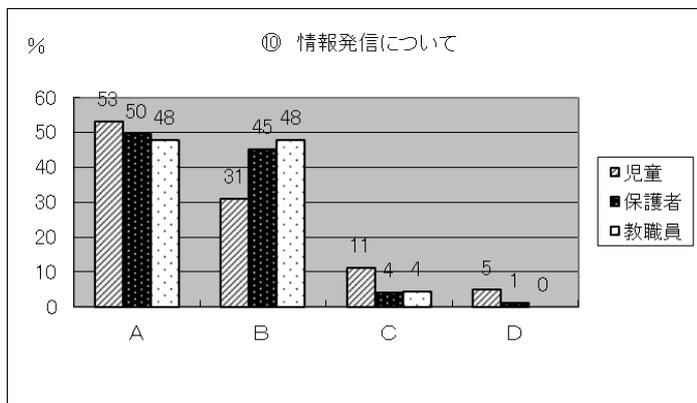
A及びBの評価が昨年度に続き100%である。今年度は、新型コロナウイルスの不安などにも対応してきた。今後も継続してきめ細かな連絡相談体制に配慮して取り組んでいきたい。

<問10 情報発信について>

児童 学校からのおたよりをよく見えていますか。

保護者 教育活動や子どもたちの様子について、各種のおたよりやホームページなどにより、知りたいことが適切に情報発信されていると思いますか。

教職員 各種のおたよりやホームページなどの学校からの情報発信は、ニーズに応える内容になっている。



児童の84%、保護者の95%、教職員の96%がA及びBの評価である。今後とも、保護者の方の必要な情報について各種通信の発行、ホームページ、メール情報等を充実させていきたい。新型コロナウイルスへの対応や不審者情報なども早く正確に発信することで、事件等に巻き込まれないように指導していきたい。